

看護学科

科目名: 免疫と感染				担当教員 氏名: 吉井 美穂		
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
1	1年次	前期	専門基礎科目	講義	必修	
実務経験を用いてどのよ細菌学における研究手法を学んだ看護師経験のある教員が、微生物の生態から人との共存における基 うな授業を行っているか: 礎的知識とその知識をもとにした感染対策の考え方について講義する。						
授業科目の学習教育目標の概要:						キーワード
宿主となるヒトと病原体双方の性質と両者の相互関係を理解するために必要な基本的知識と方法原理を学ぶ						感染症 免疫・生体防御機構 病原体・細菌・ウイルス 寄生虫
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 2. 8. 9. 10	
A 知識・理解力			生体防御機構及び感染症の診断・治療・予防法について理解する			
C 論理的思考力			感染症の臨床的特徴から対処法を論理的に説明できる能力を養う			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: 80 %	レポート: %	発表: %	実技試験: %	その他: 20 %		
特記事項: 上記の「その他20%」は授業への参加姿勢や努力を評価する/事前に自己課題を考え、その課題解決に向けての対策をまとめ る。 アクティブラーニング要素: (課題解決型学習) ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 別に定めた日時にテストを実施する。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 最後に確認のための試験を行い、採点し返却する。						
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)		
				学習内容	学習に必要な 時間(分)	
①ヒトと感染症の歴史				【予習】教材の予習	【予習】30分	
				【復習】学習内容の復習	【復習】30分	
②感染のしくみ				【予習】教材の予習	【予習】30分	
				【復習】学習内容の復習	【復習】30分	
③免疫と生体防御機構				【予習】教材の予習	【予習】30分	
				【復習】学習内容の復習	【復習】30分	
④法律による感染症予防				【予習】教材の予習	【予習】30分	
				【復習】学習内容の復習	【復習】30分	
⑤微生物総論				【予習】教材の予習	【予習】30分	
				【復習】学習内容の復習	【復習】30分	
⑥細菌の性状と主な病原細菌と疾患				【予習】教材の予習	【予習】30分	
				【復習】学習内容の復習	【復習】30分	
⑦ウイルスの性状と主な病原ウイルスと疾患				【予習】教材の予習	【予習】30分	
				【復習】学習内容の復習	【復習】30分	
⑧真菌感染症、寄生虫感染及び衛生動物				【予習】教材の予習	【予習】30分	
				【復習】学習内容の復習	【復習】30分	
使用テキスト: 藤本秀士編:「わかる! 身につく! 病原体・感染・免疫」 南山堂 ISBN978-4-525-16233-7				その他参考文献など: 「ビジュアル微生物学」ヌーヴェル ヒロカフ		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 感染症予防対策は、全ての行為の基本になります。基本的知識をしっかり身につけて、よりよい看護を目指して下さい。						